

IFA レフェリートレセン 2022

<日程>2022年7月24日(日)

<場所>境町ふれあいの里/境町サッカー場

【フィットネストレーニング】

「目・耳から得た情報から体を反応させる」

- ・プログラミングトレーニング
- ・首を振り目や耳で得た情報から決まった動きをする。
- ・TIC TOC TOE ゲーム



【試合観戦/分析】

対象試合:茨城県社会人リーグ 1 部

「育成いばらき」の活動の一環で、審判と技術の協調により同じ方向性のもとサッカーの理解を深めるため、試合終了後に両チームの監督・選手からコメントを頂きました。

「お互いの認識が異なる事象があることは理解しています。その時に選手の意見をはねのけるのではなく、コミュニケーションをとってほしい。」

「判定については細かい正誤より一貫性をもってもらうと選手は安心する。」

「理想ばかりを話すのではなく、実際の試合の中での事象について話せたのはいい機会だった。」

審判の役割は選手がサッカーをする環境を整えることであり単に罰することではありません。実際に試合で起きた事象についてコメントを頂いたことで選手の心情に触れることができ、参加者からとても参考になったと感想を頂き良い機会となりました。このような機会は様々なカテゴリーで継続して行っていく予定です。ゲーム分析は日本のトップリーグを担当する現役審判員が行い、活発な意見交換が行われました。今回のトレセン活動にご理解ご協力頂いた1種リーグ、両チームの皆様に感謝申し上げます。



レフェリートレセンの目的

茨城県内の1級審判員が中心となり、県内審判員への技術指導・素質向上・情報伝達を中心とした活動。県内の審判員には国際経験を持つ審判員など日本のトップリーグを担当する審判員が在籍しており、その経験を伝えながら底辺拡大と次世代のトップレフェリーの育成強化を図っている。

(文責:岡部拓人)